

## 目 次

序に代えて iii

謝 辞 vii

**1 阪神・淡路大震災 20 年 ..... 1**

神戸の震災復興と今後の課題 3

Challenges and future earthquake reconstruction of Kobe

復興とは何か 9

阪神・淡路大震災から 20 年

震災 20 年と御用学者 11

専門家の適用限界を超える言説を防ぐには

かけがえのない二人を奪った震災 20 年 13

貝原前兵庫県知事の悲報に接して 14

**2 東日本大震災 ..... 17**

今、私たちにできること 19

東日本大震災

「つながり」の復元を復興計画の基本に 21

東日本大震災

前例のない対応求めたい 23

被災地域の再興には停滞 24

人口減少が急激に進む

パンドラの箱に「希望」は残っているのか 26

東日本大震災に立ち向かうニッポンの混沌

集団主義的復興論に立ち向かう被災者責任のネットワークを 30

公布された法律をネグレクトするこの国の構造を考える

**3 東日本大震災と災害報道 ..... 41**

被災者に役立つ復興の見取り図提示を 43

「安心」への道を探る報道を 45

震災からの復興に向けて

復興報道に求められる上滑りせぬ地道な検証 49

## 4 震災と長期避難 ..... 55

- 創発的民間支援を 57
  - 公的支援の隙間埋める
- 阪神・淡路大震災の教訓 61
  - 漂流し疎外される被災者を生まない
- 在留登録制度と二地域居住で原発避難者の権利保障を 63
- 半数近くが疎開先のあてなし 66
  - 3割強が避難先から帰らないことを選択
  - 首都直下地震に備える墨田区調査

## 5 災害復興のデザイン ..... 71

- 序論・復興の指標を見つけよう 73
- 首都直下地震キーワードに 75
  - 深めよう、復興論議
- 能登半島地震に見る 77
  - 中山間地復興の厳しさ
- 中山間地の復興は 79
  - 格差社会へのレジスタンス？
- ローカル復興のネットワーク化目指そう 81
  - 災害復興学会立ち上げへ
- 総合的な枠組み必要 83
  - 住宅再建支援、第3ラウンドへ
- 「塩ザケ」と「ワークシート」 85
  - 復興の道筋示唆した二つのキーワード
- 地域間・業種内 BCP の立案を 87
  - 国家的危機に備えて
- 改正支援法が成立 89
  - 10年論争に一旦休止符
- 災害復興の基本は痛みの共有から 91
- 改正支援法が終わりではない 93
- いまこそ復興リベラリズムの旗を掲げよう 95

## 6 人間の復興 ..... 97

- 七つの配慮——災害復興基本法策定に向けての提唱 99
- 災害対策基本法試案 101
- 復旧・復興の定義と意義 104
- 復興の定義と指標 109
  - 多義的な復興、認めよう

ローリングプランで柔軟な復興計画の管理・運営を	
創造的復興	115
競争国家と福祉国家の狭間で	
求められる「人間復興」というパラダイムシフト	123
事前復興計画のススメ	127
この国の明日を紡ぐ	
被災地域・被災世帯の継続可能性を探る	138

## 7 災害復興制度研究所と日本災害復興学会 ..... 149

災害復興基本法の制定を	151
この国のありようを問う「復興」の視点	
災害復興基本法への道	155
「共存同衆」「事の支援」「権理のための闘争」	173
三つのキーワード理念に	
復興リベラリズムに裏打ちされた災害対応を	175
逆回り災害サイクルからの発想	
「最後の一人まで」めざす復興法体系を大震災 20 年を機に再スタート	185

執筆一覧 (2005-2015)	193
------------------	-----